



平成30年2月15日(木) 18:30～ あづみ病院本館7階 やまなみホール  
**大腸癌治療、最近の話題と当院の状況**  
 北アルプス医療センターあづみ病院  
 外科部長 兼 内視鏡室長 兼 緩和ケアセンター副センター長  
 石曾根 聡 先生

平成30年2月15日、当院やまなみホールにて第53回北アルプス医療センターあづみ病院地域連携懇話会が開催されました。今回は「大腸癌治療、最近の話題と当院の状況」という演題で当院外科部長の石曾根医師による講演が行われました。石曾根医師が赴任後3年間の当院における大腸癌患者の動向などのお話がありました。全国では大腸癌に罹患する患者は右肩上がり、当院でも患者数、手術件数ともに増えている現状です。高齢の方が多く、当院では大腸癌手術症例のうち80歳代以上の方が約4割を占めており、また術後3年生存率は90歳代でも80%以上と高く、高齢でも全身状態が良好で根治が望まれる症例に対しては積極的な外科手術の対象となっています。また、治療も大事であるがまずは早期発見早期治療が重要だとお話がありました。これは数字にも顕著に現れており、検診で大腸癌が見つかった方は70%が早期癌で、逆に症状があつて来院した方は80%が進行癌の状況であったそうです。早期発見の大切さを改めて知り、検診の有用性、重要性を地域でより広げていかなくてはならないと感じました。なお、本年から石曾根医師による肛門外来も始まり、下部消化管症状や肛門症状等でお困りの方がいらっしゃいましたらお気軽にご紹介いただきたいと思います。(地域医療連携課 今井)

## 新規!! 病診連携登録医

おかげさまで、当院の連携登録医制度に、下記の先生方に新規お申し込みをいただきましたのでご紹介いたします。今後未永いお付き合いをよろしくお願いいたします。(3月末現在、病診連携登録医数 94 施設)

No.	医院・施設名	医師名	登録月
①	大久保クリニック	藤原 健志 先生	2017年12月
②	安曇野ストレスケアクリニック	飯田 俊穂 先生	2017年12月

### 『病診連携登録医募集のご案内』 (地域の医療機関の先生方へ)

当院では、患者さんを中心とした地域医療を円滑に推進するため、地域の医療機関の先生方のご支援・ご協力をいただきながら、地域医療連携をさらに充実・発展・密なものとするべく『病診連携登録医制度』を設けております。詳しくは、地域医療連携課へお気軽にお問い合わせください。(担当：三浦)

患者さんのご紹介等に関するお問い合わせ・ご要望は、地域医療連携課で承っております。



北アルプス医療センター あづみ病院 地域医療連携課

TEL(直通) 0261-61-1455、FAX(直通) 0261-61-1456

E-mail [renkei@azumi-ghp.jp](mailto:renkei@azumi-ghp.jp)

受付時間 平日 8時30分～17時、土曜日 8時30分～12時30分(診療日に限ります)

連携室だより

2018年4月発行 JA長野厚生連 北アルプス医療センター あづみ病院 〒399-8695 北安曇郡池田町大字池田 3207-1 編集発行/地域医療連携課 TEL 0261-61-1455 FAX 0261-61-1456

# 連携室だより



## CONTENTS

新任医師紹介

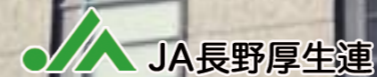
研究報告

第46回NST栄養勉強会

精神科病棟・肩関節治療センター等増改築工事安全祈願祭・起工式

第53回地域連携懇話会

新規!!病診連携登録医



北アルプス医療センター あづみ病院 地域医療連携課

《写真：中病棟解体の様子》

62  
April 2018



## 太田 浩史

(おた ひろし)

整形外科

整形外科部長

出身大学  
専門医等  
所属学会

- ◆ 信州大学 (平成 8 年 3 月 卒)
- ◆ 日本整形外科学会 専門医
- ◆ 日本整形外科学会
- ◆ 日本股関節学会
- ◆ 日本人工関節学会
- ◆ 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会
- ◆ 中部日本整形外科災害外科学会

◆ 1 月に着任いたしました太田浩史と申します。平成 8 年信州大学卒業後、整形外科歴 22 年になります。外傷など一般整形外科のほか、股関節や膝関節などの下肢関節疾患を中心に診療を行ってまいりました。思い返すと卒業して大学の医局に入局した際、1 年目の何もできない研修医として毎週月曜日だけあづみ病院で勉強させていただきました。今度は私の整形外科としての基礎をくださった地域の皆様に恩返しができればと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 岡田 知徳

(おかだ ともり)

こころのホスピタル事業部

精神科

精神科部長

出身大学  
専門医等  
所属学会

- ◆ 帝京大学 (平成 7 年 3 月 卒)
- ◆ 精神保健指定医、産業医
- ◆ 日本精神神経学会認定医、指導医
- ◆ 日本精神神経学会

◆ 4 月よりお世話になります、岡田知徳です。年齢は 5 0 代ですが、気持ちは新人のつもりで努力したいと考えております。ご指導の程よろしくお願い致します。



## 中村 寛文

(なかむら ひろふみ)

初期研修医

出身大学  
専門医等  
所属学会

- ◆ 信州大学 (平成 28 年 3 月 卒)

◆ 4 月より研修医として働かせていただく中村寛文と申します。信州大学出身で 1 年目は信大病院で研修して参りました。元々は熊本出身ですが、蒸し暑いのが苦手なのでこちらの涼しい気候がとても気に入ってしまい、これからも長野県で医療に関わっていかれたらと思っています。あづみ病院では大学病院と市中病院の異なる点などを中心に学んでいきたいと考えています。趣味はゲームで、休日などは家にもって一日中コントローラーを握っていたりします。どうかよろしくお願い致します。



## 高橋 良彰

(たかはし よしあき)

初期研修医

出身大学  
専門医等  
所属学会

- ◆ 信州大学 (平成 30 年 3 月 卒)

◆ 平成 30 年 4 月より研修をさせていただき高橋良彰と申します。小学生の頃、親の転勤の都合で 1 年間穂高に住んでいて、そのときに安曇野が大好きになり埼玉から長野県に帰ってきました。安曇野の地で働くことが出来ることをとても嬉しく思います。趣味はスノーボード、サイクリング、ボードゲーム等で、特にボードゲームは将来長野の地でもっと親しまれるようにならないかとひっそり野望を抱いております。信州大学に入学する前に物理で大学を卒業しており再受験で医学の道にきました。物理の研究よりもっと人と関わりのあることがやりたいと思ったことが医学を志したきっかけでした。あづみ病院では地域医療を通して人と人の繋がりを大切にしながら、今後医師として働いていけるようしっかりと学びたいと思いますのでご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



## 村木 崇

(むらき たかし)

消化器内科

消化器内科部長 兼

内視鏡室長

出身大学  
専門医等  
所属学会

- ◆ 山梨大学 (旧山梨医科大学) (平成 11 年 3 月 卒)
- ◆ 日本内科学会 (総合内科専門医、指導医)
- ◆ 日本消化器内視鏡学会 (指導医、学術評議員、甲信越支部評議員)
- ◆ 日本消化器病学会 (指導医、甲信越支部評議委員)
- ◆ 日本胆道学会 (指導医)
- ◆ 日本がん治療認定医
- ◆ 日本内科学会
- ◆ 日本消化器病学会
- ◆ 日本胆道学会
- ◆ 日本消化器内視鏡学会
- ◆ 日本膵臓学会

◆ 4 月より消化器内科、内視鏡室に勤務します村木崇と申します。専門分野は消化器内科、特に消化器内視鏡で、信州大学では主に胆膵診療を中心に診療、臨床研究を行ってきました。これからは自身の得意分野を中心に消化器内科全般を担当させていただきます。消化器内視鏡を中心に地域の医療にお役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。



## 新津 文和

(にいつ ふみかず)

整形外科

専門研修専攻医

出身大学  
専門医等  
所属学会

- ◆ 帝京大学 (平成 28 年 3 月 卒)
- ◆ 日本整形外科学会

◆ はじめまして。4 月より整形外科で働かせていただくこととなりました新津文和と申します。ここ大北地域で生まれ、東京で育ちました。幼少のころから体を動かすことが好きで、あらゆるスポーツを経験してきました。それ故、常に怪我との戦いでもありました。スポーツドクターという職業に憧れ、医学部を目指し、入学後はアメフト部に所属いたしました。自ら骨折や靭帯断裂等の痛みを感じ、その経験を医療の現場で少しでも活かせればと思い、整形外科医を志しました。卒業後は祖父母、父が住むこの大北地域の市立大町総合病院にて初期研修をさせていただきました。短い間ではありましたが、尊敬する祖父、父とともに三代で大北地域の医療に貢献できたことを嬉しく思います。今後もこの地域の医療に携われることを誇りに思い、日々精進していく所存です。若輩者ではございますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



## 村山 真之

(むらやま まさゆき)

初期研修医

出身大学  
専門医等  
所属学会

- ◆ 群馬大学 (平成 30 年 3 月 卒)

◆ 4 月よりあづみ病院で初期研修をさせていただきます村山真之と申します。出身はお隣の群馬県で、大学も群馬大学と、今までは群馬に留まり続けておりましたが、この度離れることになりました。長野県での暮らしに一刻も早く慣れて、微力ながらも医療の一端を担う身として日々精進していきたいと思っています。学生時代は陸上競技部に所属し、ハードルや走り高跳びの練習に明け暮れる毎日でした。部活動を引退してからは運動する習慣が潰れてしまいましたので、北アルプスの空気を感じつつジョギングなどでできればと目論む今日この頃です。一人前の医師への道のりは長く険しいもので、至らぬ点ばかりのこの身には厳しいものだろうと覚悟しております。先生方、地域の皆さま方から日々たくさんのご指導を学ばせていただきたいと思いますので、何卒よろしくお願い致します。



## 山谷 英資

(やまや えいじ)

初期研修医

出身大学  
専門医等  
所属学会

- ◆ 東海大学 (平成 22 年 3 月 卒)

◆ 初めまして、4 月より初期研修医として着任させていただきます。訳あって大学卒業より時間が経ってしまいましたが、一念発起して再び医療に携わることが出来ました。この機会を与えて頂いた先生方や職員の皆様には感謝の言葉もありません。趣味は水泳で、プールで締まりのない体を定期的に引き締めております。長野の地は初めてで不安もありますが、一生懸命頑張りますのでご指導よろしくお願い致します。

# 新 任 医 師 紹 介





## Incessant VT に対し I b 群抗不整脈薬及び短時間作用型選択的 $\beta 1$ 受容体遮断薬併用療法が著効した一例

北アルプス医療センターあづみ病院 循環器病センター 増田智幸（初期研修医）、馬渡栄一郎、東方壮男、富田威

- 断続的かつ反復的に繰り返す非持続性心室頻拍（以下 NSVT）は incessant VT として知られており、致死性不整脈に繋がる可能性があるため早急な対応が必要となります。
- 心不全加療中に頻発した NSVT (incessant VT) に対してリドカイン、メキシレチン及びランジオロール併用療法が著効した1例を報告します。
- 症例は76歳女性。動悸、ふらつきを主訴に当院循環器内科を受診されました。12誘導心電図では心房細動（HR:90回/分）が認められ、モニタ心電図では右室流出路起源のNSVTがincessantに出現しており同日入院となりました。入院後頻脈性心房細動であったことから、心不全とNSVTの増悪因子と考え脈拍コントロール目的にランジオロールを投与開始。3ml/hまで増量しましたがNSVTの減少が認められなかったためリドカインを50mg静注。その後NSVTは即座に消失し、リドカインを持続点滴(2mg/h)にて継続しました。リドカインと同じI b群に分類されるメキシレチン300mg/dayも内服併用したところ、心室頻拍の再発は認められずに退院となりました。
- 心室頻拍に対してI群薬（Naチャンネル遮断薬）が選択される場合、I a群の方がI b群のリドカインに比べて有効性が高いと言われています。しかし、本症例のようにリドカインが有する迅速な効果発現時間及び心機能への影響が少ないことを考慮すると今後も活躍の場は多いと思われれます。



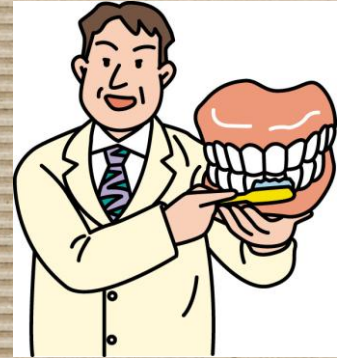
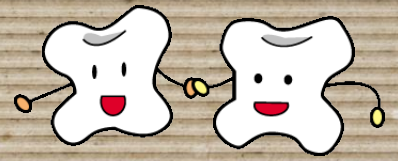
- ランジオロールは  $\beta 1$  選択性が高く ( $\beta 1/\beta 2=277$ )、半減期が短いため用量調節が容易です。さらに従来の  $\beta$  遮断薬であるプロプラノロールと比較し血圧低下をきたしにくく血行動態への影響が少ないとされています。本症例のように陰性変力作用が懸念される心不全症例の場合は低容量で開始し、抗不整脈作用や心拍数の低下が確認された投与量を維持することで安全性と有用性が確保できると考えられました。

# 第46回 NST\*栄養勉強会

平成30年3月9日に当院にて第46回NST栄養勉強会を開催しました。今回の勉強会は「口腔機能管理」をテーマに、株式会社モルテンの前川尚先生から「口腔ケア」についてご講演いただきました。

前川先生からは基礎的な知識に関するお話だけでなく、スポンジブラシや口腔内保湿スプレーを用いて、実際に自分の口の中を清潔にする体験をさせていただき、日々の口腔ケアのおこない方について見直すことができる貴重な機会となりました。また、当院NST委員会委員長であり歯科口腔外科副部長の飯島響先生からは、「咀嚼と入れ歯」について講演いただき、咀嚼・嚥下をするにあたって、歯および義歯を使用することの重要性を学ぶことができました。

平日の遅い時間にも関わらず院内外から53名の出席があり、また多職種の方に参加していただき、充実した勉強会となりました。次回のNST栄養勉強会も大勢の方のご参加をお待ちしております。（栄養科 野口）



## 精神科病棟・肩関節治療センター等 増改築工事安全祈願祭・起工式



平成30年3月29日（木）に精神科病棟・肩関節治療センター等増改築工事安全祈願祭・起工式が行われました。これまで入院棟として長年利用されてきた旧中病棟がいよいよ解体され、現地に精神科病棟・肩関節治療センターなどが増改築されます。

当日は午前中に池田八幡神社・平林宮司による安全祈願祭が現地にて執り行われ、午後には大勢の来賓および関係者の皆さまにご参列いただき、大町市のくろよんロイヤルホテルにて起工式が挙行されました。

精神科病棟はこれまで手狭で、患者さんにご不便をおかけしてきました。また肩関節治療センターの患者数も増加傾向であり、同じく診療およびリハビリテーション部門のスペース確保が課題となっていました。今回の増改築工事により、療養環境と診療の質の充実が図られます。なお、工事完了後の稼働については現在のところ本年12月からを予定しております。工期中は安全確保の観点から、患者さんならびに地域の先生方にはなにかとご迷惑をおかけいたしますが、どうぞご期待いただければと思います。（地域医療連携課 木島）